個人 3

受付	令和 7 年 8 月 25 日 午前・午後 9 時 00 分

一般質問（代表・個人）通告書

令和7年8月25日

尾張旭市議会議長　殿

氏　名　芦原　美佳子

尾張旭市議会会議規則第５０条第１項の規定により９月定例会において別紙のとおり質問したいので通知します。

なお、質問事項の件数及び質問方法は、下記のとおりです。

記

1　質問事項　　3　件

2　質問方法

	１回目　一括質問、一括答弁 再質問以降　質問事項（大項目）ごとに一問一答
○	１回目から　質問事項（大項目）ごとに一問一答

選択する方法に○を付す。

尾張旭市議会 受付 -7.8.25 第一番

別紙　　氏　名　芦原　美佳子

質　問　事　項 No.　1	防犯灯の設置及び維持管理について
要 旨	本市では、防犯灯の設置及び維持管理を主に町内会・自治会が担っており、地域の安全確保に重要な役割を果たしています。しかしながら、町内会加入率が年々減少している中で、町内会未加入者も防犯灯の恩恵を受けている現状があり、町内会員からは「不公平感」が指摘されています。 このような状況を踏まえ、防犯灯の維持管理を市が担うことで、町内会・自治会の負担軽減、公平性の確保、さらには不足地域への設置促進など、市民の安全をより一層保障できる可能性があると考えます。 そこで、以下の点について市の見解を伺います。 （1）　防犯灯の設置・維持管理の現状について 現在の防犯灯の設置状況及び維持管理体制について伺います。 （2）　現行制度のメリットや課題について 町内会・自治会による防犯灯の設置・維持管理のメリットと、課題についてどのように認識しているか伺います。 （3）　防犯灯の設置・維持管理を市へ移行することの影響について 市が防犯灯の設置・維持管理を担う場合のコスト面での影響やメリット・デメリットについて伺います。 （4）　防犯灯の設置及び維持管理の市への移行について 町内会・自治会の負担軽減、公平性の確保、市民の安全向上といった観点から、防犯灯の設置・維持管理を市が担うことについて、市の考えを伺います。

※　申し合わせ事項に留意する。

別紙　　氏　名　芦原　美佳子

質　問　事　項 No.　2	「おいしい紅茶日本一のまち尾張旭」の取組について
要 旨	本市は、日本紅茶協会認定の「おいしい紅茶の店」の実店舗と市町村の人口一人当たりの店舗数が全国で最も多く、「おいしい紅茶日本一のまち」として、様々な事業を展開してきました。第三次紅茶ブームと言われる昨今ですが、紅茶は美味しいだけでなく、ポリフェノールなどによる抗酸化作用や脂肪吸収、リラックス効果、生活習慣病予防など、健康面での効果も科学的に報告されています。 本市は「健康都市」を掲げ、「からだ・こころ・まち」を健康にする様々な取組を進めておりますが、「紅茶」と「健康」を掛け合わせることで、健康づくりに資するとともに、紅茶ファンの拡大や地域ブランド力の向上、交流人口の増加にもつながるのではと考えます。そこで、これまでの取組や、「おいしい紅茶×健康づくり」の観点からの事業の展開や情報発信等について、市の見解を伺います。 （1）　これまでの取組について 本市がこれまで取り組んできた紅茶に関する施策やプロジェクトについて、また、市としてどのように評価しているかを伺います。 （2）　「おいしい紅茶日本一のまち尾張旭」のビジョンについて 「おいしい紅茶日本一のまち」として、本市が今後どのような方向を目指しているのか伺います。 （3）　紅茶の健康面への影響について 市として、紅茶が持つ健康面への利点について、どのような認識を持たれているのか伺います。 （4）　「おいしい紅茶×健康づくり」について 「おいしい紅茶×健康づくり」の観点からの事業の展開や情報発信等について、市の見解を伺います。

※　申し合わせ事項に留意する。

別紙　　氏　名　芦原　美佳子

質　問　事　項 №　３	教職員の負担軽減に向けた生成ＡＩの利活用について
要 旨	生成ＡＩの急速な進化と普及を踏まえ、文部科学省は令和６年 12 月に「初等中等教育段階における生成ＡＩの利活用に関するガイドライン（Ｖｅｒ.2.0)）」を策定しました。これは、令和５年７月に公表された暫定版を改訂したもので、生成ＡＩの概要や基本的な考え方、場面や主体に応じた留意点を整理し、学校における適切な利活用の参考とするためのものです。 ガイドラインでは、学習活動での活用に加え、教職員の校務での利活用についても触れられています。本市においても、教職員の業務負担軽減や働き方改革を進める上で、生成ＡＩの効果的な活用は重要であると考えます。そこで以下について伺います。 （１）　教育委員会としての認識について 文部科学省が示したガイドラインを踏まえ、教職員の負担軽減に向けた生成ＡＩの利活用について、本市のお考えを伺います。 （２）　教職員の校務での活用可能性について 学習指導案や教材作成の補助、校務文書や保護者への案内文書作成の支援、会議資料作成の効率化など、具体的な業務での活用の可能性について伺います。 （３）　生成ＡＩ活用に向けた環境整備について 安全性や個人情報保護の観点を踏まえ、生成ＡＩを安心して活用できる体制整備（システム導入、セキュリティ対策等）をどのように進めていくのか伺います。 （４）　教職員のスキル習得支援について 生成ＡＩを効果的に活用できるようにするための研修や実践的な学びの場を、どのように提供していくのか伺います。 （５）　今後の取組と展望について 生成ＡＩを活用した教職員の業務改善や負担軽減に向けた本市の今後の方針について伺います。

※　申し合わせ事項に留意する。